

RPPC メールマガジン 第 787 号

リサイクルポート推進協議会（令和元年 8 月 21 日）

■事務局からのお知らせ

(1) 山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付致しました。

～詳細につきましては添付ファイルをご確認ください～

(2) 第 1 回 循環資源利用促進部会 開催について

日時：9 月 5 日（木）10:00～

場所：みなと総合研究財団 3 階 会議室

(3) 第 1 回 汚染土壌事業化部会 開催について

日時：9 月 12 日（木）15:00～

場所：みなと総合研究財団 3 階 会議室

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 横浜市、横浜港新本牧ふ頭のコンテナターミナル関連工事開始

横浜市港湾局は、横浜港新本牧ふ頭整備の最初の本工事としてWTO案件となる地盤改良工事等を順次開札している。また今後は同じくWTO案件で同護岸のハイブリッドケーソン製作も発注していく。

新本牧ふ頭ではロジスティクス拠点として整備する第 1 期地区の埋立面積約 38ha（第 1 ブロック）を市が今年度から事業化している。

また直轄事業ではコンテナターミナル等として整備する第 2 期地区の約 100haのうち第 2 ブロックの約 50ha を今年度に事業化した。

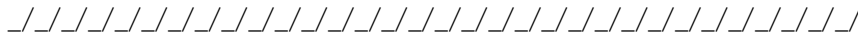
市は第 1 ブロックのうち航路側の外周護岸の整備を先行し、リニア中央新幹線の発生土砂を早期に受入れる。

---

## 2. 国交省港湾局、第3回サイバーポートWG開催

国土交通省港湾局は8月5日、港湾の電子化（サイバーポート）推進委員会の下に設置した「サイバーポート検討WG（港湾・貿易手続）」（座長・小野憲司京都大学経営管理大学院客員教授）の第3回会合を開催した。2020年末までに「港湾関連データ連携基盤」を構築することを目指し、システム要件等について検討した。港湾関連データ連携基盤は、荷主、フォワーダー、陸運、ターミナルオペレーター、船会社等有する港湾・貿易手続に関する情報をはじめ、インフラ情報、行政手続きなど港湾に関するあらゆる情報を連携させる情報公共インフラとして整備するもの。会合冒頭の挨拶で中村晃之国交省港湾局計画課長は、「世界のサプライチェーンを取り巻く電子化の動きが加速化している。わが国の国際競争力を高めるため、手続きの電子化を進めることは急務。港湾関連データ連携基盤の構築に関する本WGの検討を着実に進め、サイバーポートの実現を図って行きたい」と語った。

【港湾空港タイムス8月12日号から編集】



発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田



■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。